# 都市再生整備計画 事後評価シート 室蘭駅周辺地区

令和5年3月

北海道室蘭市

## 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道	道	市町村名 室蘭市				ŀ	地区名			室蘭駅周辺地区			108	
交付期間	平成30年度~令和3年度		事後評価実施時期		令和4年度		交付対	対象事業費		5,353	国費率	0.5			
			事業名												
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、	基幹事業	道路、公園、地域生活基盤施設(情報板)、高次都市施設(地域交流センター)、誘導施設(教育文化施設)												
	実施した事業	提案事業	也域創造支援事業												
			事業名					削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から	基幹事業	-					_				-			
	削除した 事業	提案事業	-					_				-			
	新たに追加した事業	基幹事業	公園、高次都市施設(地域交流センター)					屋内運動施設と地域交流センターが一体となった総合アリーナの 建設を追加することにより、計画目標である賑わい創出を一層推 進するため					基幹事業の追加による計画期間延伸に合わせ目標値を変更		
		提案事業	-					_				-			
	交付期間 の変更	当 初	平成30年度~平成32年度 交付期間の変更による					影響無し							
		変 更	平成30年度~令			数値目標への									
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況		指標	単位	(	直 ¦基準年度	目標個	直  目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内0 達成見込			フォローアップ 予定時期	
	指標1	区域内歩行	者の通行量 人/日	7,392	H30	8,511	R3		6,183	×	あり なし	拠点施設の整備や賑わい みによりコロナ前は増加傾 R2以降はコロナ禍の情勢 い結果となった。	向であったが、	-	
	指標2	区域内公共 数	施設利用者	75,941	H28	100,000	R3		30,335	×	あり なし	- コロナ禍の休館やその後の イフスタイルの変化等によ ■ 結果となった。		-	
	指標3	空き店舗の	舌用件数 件	1	H26~ H28平均	8	R3		8	•	あり なし	<ul><li>拠点施設や情報板が整備</li><li>の賑わい取り組みなどにより</li><li>解消が進んだ。</li></ul>		-	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値	指 標		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(従前代	直 基準年度	目標値	直 目標年度	サージョング 数	値 評価値	目標 達成度	1年以内0 達成見込む			フォローアップ 予定時期	
目標以外の指標)による効果発現状況	その他の 数値指標														
4)定性的な効果 発現状況															
5)実施過程の評価			実施内容					実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		- 都市				都市再生藝	主整備計画に記載し、実施できた 主整備計画に記載はなかったが、実施した 上整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス		オープンスペース社会実験の市民参加による実行委員会の組織。 市民向け施設内覧会の関係(図書館 アリーナ)				都市再生整 都市再生整	整備計画に記載し 整備計画に記載は 整備計画に記載は	、実施できた なかったが、実	施した	後も市民主導のまちづくり支援・ つなげていく。	市民主導のまちづくり支援や施設PRなどを通じて、賑わい創出 だげていく。			
	持続的なまちづくり 体制の構築		オープンスペース社会実験の実行委員会から発展的に市民団体の組織化				都市再生藝					民主導のまちづくりについて、必 テっていく	導のまちづくりについて、必要に応じて市のバックアップサポート ていく		

### 様式2-2 地区の概要

#### 室蘭駅周辺地区(北海道室蘭市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指	従前値		目標値		評価値		
【大目標】 広域交流の促進と、来街者を迎えるまちの顔としてふさわしい賑わいの創出 【小目標】	区域内歩行者の通行量	単位:人/日	7,392	H30	8,511	R3	6,183	R3
・新規フェリー就航等を契機とした広域交流の促進 ・図書館・環境科学館合築整備や(仮称)総合アリーナ整備、地元商店街の魅力向上等による地域交流の促進・	区域内公共施設利用者数	単位:人	75,941	H28	100,000	R3	30,335	R3
活性化 ・回遊性や総合プロデュース力向上の取り組みにより相乗効果を創出 これらの取り組みにより、交流人口の拡大や地域の稼ぐ力の向上につなげ、賑わいの再牛を目指す。	空き店舗の活用件数	単位:件		H26~H28 平均	8	R3	8	R3

#### ■ 交付対象事業の主な取り組み

















#### ■ 整備概要図 基幹事業:公園 旧室蘭駅舎公園整備 関連事業:官民連携単独事業 フェリー就航促進事業 提案事業 旧室蘭駅舎活性化事業 関連事業:官民連携単独事業 客船誘致事業 基幹事業:地域生活基盤施設 情報板整 関連事業:官民連携単独事業 観光客回遊促進事業 関連事業:官民連携単独事業 高校生ビジネスプラン事業 関連事業:単独事業 入江運動公園(スポーツ機能強化事業) 関連事業:官民連携単独事業 空き店舗活用促進事業 基幹事業: 高次都市施設 地域交流センター整備事 関連事業:官民連携単独事業 創業支援事業 基幹事業:公園 運動施設整備事業 関連事業:官民連携単独事業 関連事業:都市公園・緑地等事業 商店街活性化推進事業 入江運動公園(子育て機能強化事業) 基幹事業:中心拠点誘導施設 提案事業 まちなか活性化事業 図書館整備事業 基幹事業:道路 関連事業:環境省補助事業 市道中央·舟見通線、市道栄町通線 環境科学館整備事業 関連事業 都市再生整備計画区域 公共交通圏 DID地区 基幹事業 都市機能誘導区域 居住誘導区域 提案事業

#### まちの課題の変化

- ・老朽化した公共施設が再編整備され、賑わい創出にふさわしい広域交流拠点となっている。
- ・回遊性向上・まちなかの賑わい創出・空き店舗解消につながっており、継続的な賑わいづくりの団体活動にもつながっている。

#### 今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

・室蘭駅周辺地区は、室蘭市立地適正化計画における都市機能誘導区域に位置付けており、今後も、都市機能の維持向上や居住誘導、公共交通ネットワークの充実などに取り組んでいく。

・新たな施設として整備した図書館・環境科学館やアリーナは、地域内外から交流人口を引き寄せる集客力の高い施設であり、これらの施設が持つ魅力をしっかりと発信しさらなる集客につなげていく。また、この集客効果を持続させ るために、地域住民や企業など、多様な主体を巻き込みながら、一過性の取り組みとならないよう、継続的に取り組んでいくことが必要。